



たんぽぽ

会長挨拶

第3代会長 庄司 諒



同窓生のみなさん、会長の庄司です。先日入会式を開催し20回生を同窓生として迎えることが出来ました。20回生の皆さん、これからよろしくお願ひします。さて、20回生を迎えたということは同窓会も設立から20年を迎えたということになります。会員数も5000人を超え、社会で様々な活躍をされている方が多くおられると思います。執行部内に目を向けても学生や会社員、教員など様々な立場のメンバーが同じ目標に向かって活動を行っています。社会人になると仕事以外で交友関係を築く機会がなかなかないので、同窓会執行部の活動というのは貴重な場であると思います。執行部に直接参加しなくても同窓会懇親会の場でも同窓生同士で交流することができます。年々参加者も増えていますので、次回の懇親会にぜひ参加してはいかがでしょうか。

次の節目を迎えられるように今後も同窓会の活動を通じて宮城野高校と同窓会の発展に努めていきたいと思ひます。

校長挨拶

第9代校長 伊東 玲子



本校は、平成7年4月に開校し、他校では考えられない、校訓も校則も部活動も制服もない学校として、23年目となりました。

創立以来貫かれた教育理念をふまえながらも、生徒自身の考え方や家庭環境、社会情勢を鑑みながら、宮城野高校が発展し続けるためにはどうしたらいいのか、日々検討し続けております。

同窓会というのは、同じ高等学校を巣立った卒業生同士が、世代を超えて、つながり、語らい、社会人として活躍している報告を行いながら、新たなつながりを得ることができる場であると考えます。高校生という多感な年代を、同じ学び舎で過ごし、同じ校歌を歌った者たちだけが共有することができ、お互いの成長を確認できる場でありたいと考えています。

同窓生の皆様の、国内外でのご活躍の様子を耳にすることができますことは、我々教職員や在校生にとって、うれしい限りです。

宮城野高校の同窓会が、今後、より一層発展し充実していくことを、心から祈念いたしております。

同窓会入会式

20回生が同窓会に入会しました。ここでは新しく加わった仲間から寄せられたコメントを紹介いたします。

國本 恭平 この度、第20回生幹事に就任致しました國本恭平です。高校生活では様々なことに主体的にトライすることができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。今後は、大学での勉強に励み、音響についての知識・理解を深め、就職に役立てて行きたいと思えます。幹事会にもできる限り参加していきたいと思えます。先輩方、何卒よろしくお願い致します。

庄司 里緒 高校生活は友達や先生に恵まれて、とても楽しく過ごすことが出来ました。不安はありますが、新生活もクラス幹事もしっかりやっていきたいです。

山谷 夏末 高校生活はあっという間だったので大学では時間を大事に過ごします。幹事も頑張ります。

後藤 健太 大学に入学し、生活リズムは高校とほぼ変わりませんが授業の受け方や学習方法の違いにまだ慣れることができていません。「自ら求める」という態度に慣れるように頑張っていきたいと思えます。



20回生 ホーム幹事

ホーム	幹事氏名(★印…常任幹事)			
31H	3107 伊藤 百香	3120 庄子 遥		
	3137 古澤 京			
32H	3211 内海 伴弥	3229 庄司 里緒		
	3237 山谷 夏末			
33H	3326 高田 晃希	3331 中野 大雅		
34H	3423 高梨菜由子	3438 村上 太一		
35H	★3511 國本 恭平	★3512 後藤 健太		
36H	★3609 奥田 龍真	3620 佐藤 智哉		
	3636 松葉 瑞希			
37H	3727 田上知奈実	3732 沼田 弥幸		

奥田 龍真 大学生活は1週間単位でしっかりと計画しないと間に合わないのです。高校のうちから手帳などに予定を書くことをオススメします！

吉澤 京 高校生活は制作活動に励み、友人们と切磋琢磨しながら本当に楽しい3年間を過ごしました。宮城野高校を寂しく思いながら慣れない新生活を懸命におくつていきます。離れた土地でも幹事として出来ることは全力でやりたいと思っています。

高田 晃希 同じ窓で会ったみんなと大きな牙を磨く。よろしくお願ひします。

中野 大雅 皆様と出会えたのも何かの縁だと思えます。共に大きな牙を磨いていきましよう！ヨロシクお願ひします。

沼田 弥幸 宮城野という一つの大きな枠で、たくさんの方と関わって学びながら成長していきたいです。よろしくお願ひします。

文化祭出展

校内活動において最も多くの人の目に触れる機会、それが文化的行事だ。同窓会執行部としての初仕事を迎えた我々19回生は考えた。聞いたところ、今年度のテーマは「笑顔満祭」。見た人が思わず笑顔になれるものは何か、役員で議論した結果がこのポスターである。本気の遊びにこそユーモアが生じる、そう確信した我々は先生方をメインとしたパロディ作品を手掛ける運びとなった。卒業生にも知名度の高い先生を起用することで、当時の学校生活を思い出してもらおうという企画である。こうして錚々たる顔ぶれが集い出来上がったのが、「高台家の人々」をベースに作成された「宮城野の人々」だ。SNSでの広報活動もあってか、当日は多くの方で賑わっていた。先生方をも巻き込んでしまう宮城野高校の校風や自由度の高さを来訪者にアピールするきっかけともなっただろう。卒業生としての目線から校内行事に花を添えられるのなら、これほど嬉しいことはない。



(川村千紗都)

みやぎ総文

2017

今から2年ほど前になりますが、宮城県内の文化部の祭典「宮城県高等学校総合文化祭」のポスターに先日本校を卒業された20回生の庄子遥さんの作品が採用されました。そして今年はその全国版の「第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ総文2017」が宮城県で開催されることもあり、それを皆様にお伝えするとともに当時のポスターを紹介いたします。
※みやぎ総文2017のポスターではありません



作者：庄子 遥 (20回生)

作品テーマについて

この時のテーマがとても具体的なイメージをもてるものだったため、そのままを絵に表そうと工夫しました。背景となる花は図鑑等を参考にしながら具象的な描写を心がけ、中央の絵の具のチューブは万華鏡のように配置し、絵の具が出ることで余白が抽象的な花の形になっています。それぞれの文化部の成果が花開くことを祝福するポスターを目指しました。私自身、このポスターを採用して頂いて日々の成果が実りました。

「みやぎ総文2017」とインターネットで検索していただくと詳細をご覧いただけます。開催期間は7月31日～8月4日です。ご興味ご関心がありましたら是非各会場に足を運んでみてください。

平成28年度 同窓会総会報告



2016年9月3日(土)、ホテル白萩にて平成28年度の同窓会総会が執り行われました。前々回から利用している馴染みのある会場ということで、適度な緊張感がありつつも和やかな雰囲気の中、約30名の同窓生・現旧職員の先生方が出席しました。

例年、総会終了後から懇親会までの間に空き時間が多く生まれてしまい、総会と懇親会両方に出席する参加者が少々手持ち無沙汰になってしまうとの過去回からの反省を踏まえ、今回は今までのより30分時間を遅らせての開始を試みました。

会では前年度の事業報告ならびに会計報告・監査報告、および28年度の事業計画案と予算案といった、全ての議題について承認をいただき、新年度へ新たなスタートを切ることができました。

次回29年度の総会は、敬老の日を含む連休初日の9月16日(土)に開催予定です。今回はほぼ形式的な議事に留まりましたが、今後は約2年半後の2020年に開校25周年を迎えるということで、それを見据えて同窓会の活動もより一層の充実と人員の強化が求められる状況です。総会でもより多くの活動報告や活発な意見交換ができれば理想的ではありますが、現在、多くの役員・幹事



が、学業や仕事、育児などの合間のわずかな時間を使いながら、安定した同窓会組織の構築に向けて取り組んでいる最中であり、正直猫の手も借りたい、というのが本音のところでは。

同窓会に参加するのは、仕事や居住地など物理的な事情で難しくかったり、またなんとなくイメージしづらかったりする部分もあるかもしれない。確かに私自身振り返ってみると、元々ホーム幹事でもなく、卒業後は進学と就職で仙台を長らく離れていたこともあり、卒業してからの数年間は現状を生きるのに精一杯で、特に気に留めることもなかったように思います。しかしながら、現在皆さんが進んでいる道の途中で、何か大きな壁にぶつかって思い悩む時や、逆に少し心の余裕ができた時など、そんな時は、ぜひこういった場を通じて、同窓会に参加していただければと思います。



3年間共に学んだ仲間や先輩・後輩たち、そして恩師の先生方と再会し久しぶりに話すだけで、生きるためのヒントや気づきももらえるかもしれません。

ぜひ一度お越しいただき、同窓会の活動の一端を知って欲しいと共に、微力でもご協力を賜りたいと考えております。今年も沢山の同窓生の皆さんにお逢いできることを楽しみに、会場でお待ちしております。

(柴田康博)



平成28年度 同窓会懇親会報告

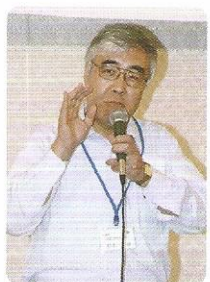


総会后、同会場錦の間に同窓会懇親会が開催されました。前年度に比べると若干出席者は少なかったものの、たくさんの同窓生と伊東玲子校長先生をはじめとする宮城野高校の現職員の先生方、そして旧職員の先生方にお集まりいただきました。会場では、懐かしい先生方や同級生との再会に笑みが溢れ、和気あいあいと和やかな雰囲気のもと懇親会がスタートしました。昨年度から、懇親会全体を年代が離れた二つの回生で担当するという新しい取り組みが始まりました。昨年度は1回生と16回生が担当し、そこからバトンを受け、今回は2回生と17回生が担当をさせていただきました。代表挨拶では2回生の阿部幸平さんから挨拶をいただき、当時の思い出や宮城野高校への思い、同窓生の活躍などお話をいただきました。一昨年度までは同窓会役員幹事が中心となって企画・運営を行っていた懇親会が、こうして代表回生の協力を得て新しいかたちでスタートでき、今後様々な広がりを持つ場としての期待感を抱きました。



余興では、回生ごとに自己紹介をいただき、思い出話や近況報告など、ひとり一人が輝く個性を感じ楽しい時間となりました。また、先生方にもおひとりお一人お話をいただき、熱いお話から同窓生以上に「宮城野愛」を感じる時間となりました。その後、代表回生企画による宮城野クイズを三択で行い、クイズを通して宮城野の歴史を振り返りました。ちなみに・・・「第16回目の文化祭のタイトル名に使用されている「ホモ・ルーテンス」の意味は？」という問題は、多賀努先生が見事正解されました！さすがですね。

会の終わりには、恒例となった参加者全員による校歌合唱を行いました。作曲者である矢吹隆志先生が音頭を取って下さり、美しい四部合唱が会場に響き渡りました。初めて聞いた時の感動がよみがえるようでした。この誇るべき宮城野高校の校歌は何年、何十年経っても思い出と共に色あせることはありません。今回出席できなかった皆さんも次回はずいぶん、会場と一緒に歌いましょう。



(柴田久美子)



9回生

タイムカプセルプロジェクト

(タイムカプセルプロジェクト有志 文・岸宏明)

2006年3月、9回生の卒業式が終了した後、食堂に卒業生が集まっていた。人文科の女子5人の提案で、タイムカプセルを埋めることになったのだ。美術、人文、理数、総合学科と学科の隔たりなく、卒業生の36人が参加した。タイムカプセルに埋めるものは、友達ひとりひとりに宛てた手紙。当時、その人に恥ずかしくて伝えられなかったことや、将来その人に読んでもらいたいことをそれぞれ綴った。書き終わった手紙をビニール袋に入れ、複数のビンにまとめて詰め、さらにプラスチックの箱に入れ、蓋をガムテープでぐるぐる巻きにし、開封したときに無事に手紙が読める状態であることを願った。手紙の他に、プリクラや写真を入れる人も多くいた。そして先生の許可を貰いグラウンドのツタヤ側スコップで埋めることになった。あまり深く埋めすぎても、掘り起こすときに見つけられない可能性があるが、浅すぎても、月日と共



見つからない...



今度はこっちを掘る

に風化によってタイムカプセルが出てきてしまうのではないかと心配だった。卒業生のそれぞれの思いが詰まったタイムカプセルは無事に埋められ、5年後の2011年3月に掘り起こすことに決めた。

それから5年の月日が経ち、卒業生たちの多くが大学を卒業し、社会人1年生になっていた。予定通りタイムカプセルを掘り起こそうと学校側に連絡を取り、日程も決まった矢先に、東日本大震災が起きた。9回生たちはみな無事だったが、タイムカプセルを掘り起こす計画は中止になってしまった。

また月日が流れ、2016年7月に宮城野で文化祭が行われる日に掘り起こすことになり、当初タイムカプセルを埋めたときのメンバーの中から5人の卒業生が集まった。教頭先生立会いのもと、埋めた場所に向かった。いざ、掘り起こすとすると、グラウンド脇のツタヤ側に埋めたのは覚えていたけど具体的な場所は、人によって違い、「ボールのすぐ下」「フェンスの植え込みの所」「バックネット側」と、記憶が曖昧だった。最初にフェンス近くの植え込みのところを掘り起こしていった。シャベル(スコップ?)を使いみんなで懸命に掘っていった。しかし、その場所に本当に埋まっているという確証がないので、どこまで深くそしてどこまで掘る場所を広げていくか迷いながらの作業だった。とりあえず、それらしき所を掘って、無ければまたその隣を掘っていった。気がつけば結構な範囲を

掘っていたが、タイムカプセルは見つからず、日も落ちてきたのでその日は諦め、また今度リベンジすることになった。

二週間後、みんな「今日こそは掘り起こす!」と意気込んで集まったが、前回すでに結構な範囲を掘っているの、このままタイムカプセルが見つかることのないまま宮城野にずっと永遠に埋まったままになる可能性もあった。今回はボール下を集中的に掘っていくことに決め、掘り始めた。そしてその時はまさかの開始から30分ほどで来た!一人が「何かある!!」と叫び、みんながその人の掘った所に集まると、確かに白い何かが地面から顔を出していた。その周りの土を掻き分けていくと、白いプラスチックのケースが表れた。それはまさしく、自分たちが埋めたタイムカプセルだった。皆、喜びに沸き、慎重にタイムカプセルを取り出した。ケースの蓋を開けると水が少し入っていたが、手紙を入れていたビンの中には水は入っていなかった。すぐにも自分宛に書いてくれた手紙を読みたかったが、後日みんなで集まって贈呈式をやるうということになっていたの、その場で読むのはおあずけとなった。

そして、お盆の時期になり、贈呈式が開催



何か出てきた!



やったあー!



中身も無事

時空を越えた手紙たち

された。集まったのは12人ほどだった。他の来られなかった人たちには郵送で手紙を送ることにした。皆、自分宛に送られた手紙を読み、懐かしい感情や恥ずかしい感情がこみ上げてき、話に花が咲いた。こうして宮城野高校9回生のタイムカプセル計画は大成功のうちに幕を閉じた。

最後にタイムカプセルを企画してくれた人たちが参加してくれた人たち、そして協力してくれた先生たちに感謝の意を申し上げます。

現役宮城野生は相も変わらず元気に活動しています



初めまして。お久しぶりです。元気です。 加藤 咲 15回生

私は、宮城野高校を卒業して、入学した大学に通う中で違和感がありました。それと同時に「ここにあと4年もいるのは嫌だな」と、思いました。詳細は長いので省きます。そこから何やかんやあり大学2年次から入学できる大学の、編入試験を受けました。

編入試験の際、志望動機を言わなければなりません。まさか「今の大学にいたくないから」と言うわけにもいきません。この大学は、2年次から編入すると精神保健福祉士(以下:PSW)の受験資格が得られるということで、受験資格取得を理由にしました。この時、PSWが何かはさっぱり分かっていません。嘘も方便です。

そんなこんなで新たな大学に入学し、PSWを目指すことになりました。それから意外にもPSWにどんどん惹き込まれていきました。ここも長いので省きます。大学卒業し、現在は、念願のPSWとして茨城県の病院で働いています。正直なところ、「やってられるか」と思うこともありますが、それ以上に面白いと思うことが多いので続けることができています。

最後に私は文章で伝えることも、人前に立って話すこともうまくできないので、好きではないです。しかし、ほろ酔い気分で話すことのできる場は好きです。PSWのこと、宮城野高校にいた時のことなど話したいことは沢山あります。宮城野高校の方たちとそれができるのは同窓会懇親会ですね。ここで書ききれなかった分はその場で機会があれば話したいと思います。また皆さんの話も聞かせていただきたいです。是非懇親会にてお会いしましょう。それでは。

同窓生として、教員として 若生 啓太 6回生

宮城野高校に教員として戻ってきて3年目を迎えました。赴任してから子宝にも恵まれ、今は子育てと仕事の両立に奮闘しているところです。自分に子どもができたことで、「育ててくれた両親や、自分を支えてくれている周りへの感謝の気持ち」について、以前より生徒に伝える機会が多くなりました。宮城野での自由な生活を楽しむ一方で親孝行していなかった高校時代の自分を反省しながら、どう指導していったらよいか考えています。

担任、教科、生徒指導部など様々な側面から生徒に接していますが、宮城野で教える側になって特に難しく感じていることは「自由」についてです。ヤング・アダルトという言葉は今使わなくなってしまいましたが、「自由」から自己責任について学ぶのは今も昔も同じ。そのためにも、生徒自身に任せているやらせてみる・やってみたいと思わせるきっかけを作ってあげたいのだけれども、手をかけすぎたり我慢できなかったりしてその機会を奪ってしまっていることも。難しいなあと思いつつ、自分のお世話になった先生方はもっと大変だったんだろうなあと思いを馳せています。

この学び舎に戻ってきて、様々なことがあった高校時代を振り返りながら今の生活を考える機会が増えました。みなさんも気が向いたときにでも校舎に足を踏み入れて、思い出を振り返りに来てみてはどうでしょうか。

回想～宮城野に赴任した頃

小田 浩一 3回生年次主任

「私の生活は音楽と結びついています、まずパッハを弾くことから一日が始まります。自宅にいる時は、朝食前に最低1時間パッハを弾きます。心と健康のために、不可欠なのです。私は熱心な読書家で、本を読む時間を大切にしています。音楽に関する本も多いのですが関係のないものもたくさん読みます。劇場や映画館にもよく行きます。美術館も好きで、心を豊かにするものに接するのが好きなのです。新鮮な空気を吸いながら自然の中を散歩するのも好きです。日常はこんな感じですべてが音楽につながっているのです」これは、1953年、ブダペスト生まれのピアニスト、アンドラーシュ・シフの言葉である。

退職を機に、時間に少し余裕ができれば、自分もこんな生活がしたいと思っていたのだが・・・、空いた時間はあつという間に別件に占拠されてしまった。しかし、何に時間を使うのかは自分で決めているわけで、結局、自分がしたいこと、そして好きなことに時間を使っていることに気付く。それは、シフと同じかなと思うのだ。

埼玉県立高校2校に12年間勤務し、教員として自信と手応えを感じ始めた頃、宮城県の教員として柴田農林高校に異動した。県の違い、学校文化の違いに戸惑ったが、これが教員生活を振り返るきっかけになった。初心に戻り、自分の目指す教育に取り組もうと考えるようになった。その時、宮城野高校が開校することを知った。次はこの学校で仕事がしたい、と異動を希望した。宮城県の教員になって3年目の秋、38歳だった。

開校時に宮城野高校が目指していたもの、取組んだ様々な教育活動については、10周年記念誌に詳しい。あの頃の宮城野高校が、私のその後の教員人生を変えたのは間違いないが、何よりも楽しく仕事できた8年間であった。それは、試行錯誤をしながらも自分の目指す教育に取り組むことができたからだと思っている。忙しくても、それが好きなことならば楽しいし、いい仕事もできるのだと思う。



表紙作者紹介

宮崎里季 (みやざきりき)



プロフィール

宮城野高校美術科2000年卒(3回生)
主専攻：クラフトデザイン(陶芸)
山形県立米沢女子短期大学日本史科卒
現在は仙台でパートで働きながらときどき絵の仕事をしています。
月2回、養護老人ホームで陶芸の講師をしています。

表紙へ込めた思い

社会人になると生活に追われ、ぐっと自分を押し殺して仕事でも家庭でも黙々と作業をしなければならなくなってきます。それでも、自分のやりたいこと、自分の行きたい方向へほんのわずかでも進め、「そのまま進め」と、くり返しの毎日を過ごしている人たちへエールを送りたくて、つばめに託してこの表紙の絵をデザインしました。

Staff
募集!

同窓会は「たんぼぼ」の編集に限らず慢性的に活動人員が不足しています。同窓会では一緒に同窓会活動を行っていただけるStaffを募集しています。ご興味ご関心のある方は同窓会事務局までご一報ください。一緒に宮城野高校同窓会を充実させていきましょう!

Tampopo Project 2017-2018

たんぼぼチームは会報誌発行のため、たんぼぼに記事を提供していただける方や団体、ご意見ご感想を募集しています。特に次回の会報誌から寄稿文を中心に構成していく予定(あくまで予定)です。皆様のお力が必要です。どうかご協力をお願いします。また、同窓会では同窓生の活動の支援を行っています。ご連絡をお待ちしています!

次期総会・懇親会のお知らせ

平成29年度の同窓会総会・懇親会は9月16日(土)です。詳細は同封の案内状をご覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

同窓会では安定してご案内を同窓生へお届けするために刊行物等は実家住所へ送付することを基本方針としていますが、宛先不明により同窓会からの案内をお届けできない事象が多発しています(そのために発行部数が総会員数より少なくなっています)。実家の転居、結婚や独立などにより拠点となる住所に大きな変更が生じた際には、総会の案内ハガキか同窓会のWebサイトから確実にご連絡を頂きますようご協力をお願いいたします。

たんぼぼ16号 2017.7.7発行 4700部

「3」という数字は一つの区切りとしてよく用いられますが、会報誌も3年連続で発行することができ、基礎固めができたと感じています。同窓生の活躍を紹介する割合も増え、会報誌として充実してきました。今後はこの流れをさらに加速させ、飛躍できればと思います。そこでご紹介するものは決して大それたことばかりでなくていいのです。日頃の皆様の何気ない日常の一コマをお伝えできればと思うのです。最後に、今回原稿をお寄せいただいた皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

Tampopo Project Team 編集長：佐藤詔太(10)

卒業生数(1~20回生)

普通科	3,139
総合学科	1,583
美術科	772
合計	5,494

宮城県宮城野高校同窓会報誌「たんぼぼ」

発行：宮城県宮城野高校同窓会

〒983-0021 仙台市宮城野区田子2丁目36-1 宮城県宮城野高校同窓会事務局
Web: www.miyagino-hs.jp E-mail: mail@miyagino-hs.jp TEL: 022-254-7211
Design:Tampopo Project Team Design,Printing: 利商印刷株式会社

© 宮城県宮城野高校同窓会 Printed in Japan

平成27年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 決算書 (平成27年8月～平成28年7月)

(単位:円)

1 収入の部

項目	予算額	決算額	増	減	摘要
会費	1,503,000	1,494,000		9,000	会費: @1,800円×835名 退会会費返金: 5,400円1名 3,600円1名
繰越金	3,675,136	3,675,136			前年度繰越金
雑収入	0	0			総会懇親会参加費
合計	5,178,136	5,169,136		9,000	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	増	減	摘要
1 総務費	240,000	75,820		164,180	
(1) 会議費	30,000	2,730		27,270	幹事会茶菓代
(2) 旅費	150,000	60,000		90,000	幹事会交通費
(3) 需用費	20,000	13,000		6,910	印刷用消耗品等
(5) 慶弔費	30,000	0		30,000	
(6) 雑費	10,000	0		10,000	
2 事業費	4,220,000	3,307,462		912,538	
(1) 総会・懇談会費	450,000	126,784		323,216	総会案内紙印刷切手代、懇親会案内
(2) 会報発行費	750,000	305,241		444,759	会報発送切手代
(3) 在校生支援費	300,000	239,593		60,407	卒業証書ホルダー
(4) 卒業生企画支援費	80,000	75,514		4,486	受験申請生職協会茶菓代・案内郵送料
(5) 同窓会企画費	10,000	0		10,000	
(6) Webサイト費	10,000	5,466		4,534	レンタルサーバー費用
(7) 支部助成費	20,000	0		20,000	
(8) 同窓会名簿管理費	100,000	54,864		45,136	会員データ保守年間管理料
(9) 積立費	2,500,000	2,500,000			
3 予備費	718,136	0		718,136	
(1) 予備費	718,136	0		718,136	
合計	5,178,136	3,383,282		1,794,854	

平成27年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 特別会計 決算書 (平成27年8月～平成28年7月)

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増	減	摘要
収入	2,500,000	2,500,000			
繰越金	8,019,982	8,019,982			前年度繰越金
雑収入	0	1,697	1,697		預金利息
合計	10,519,982	10,521,679	1,697		

平成28年度大学合格者数 (延べ人数)

【国公立大学】

学校	現役	規卒	計
弘前大	1		1
岩手大	5	1	6
東北大	2	1	3
宮城教育大	8		8
秋田大	1		1
山形大	14		14
福島大	4		4
群馬大	1		1
筑波大	1		1
宇都宮大	1		1
茨城大		1	1
埼玉大	2	1	3
神戸大		1	1
新潟大		1	1
富山大	1		1
琉球大		1	1
国立大学合計	41	7	48
宮城大	27		27
秋田公立美大	2		2
長岡造形大	1		1
高崎経大	2		2
岩手県立大	2		2
首都大東京		1	1
金沢美術工芸大	2		2
公立大学合計	36	1	37
国公立大学合計	77	8	85

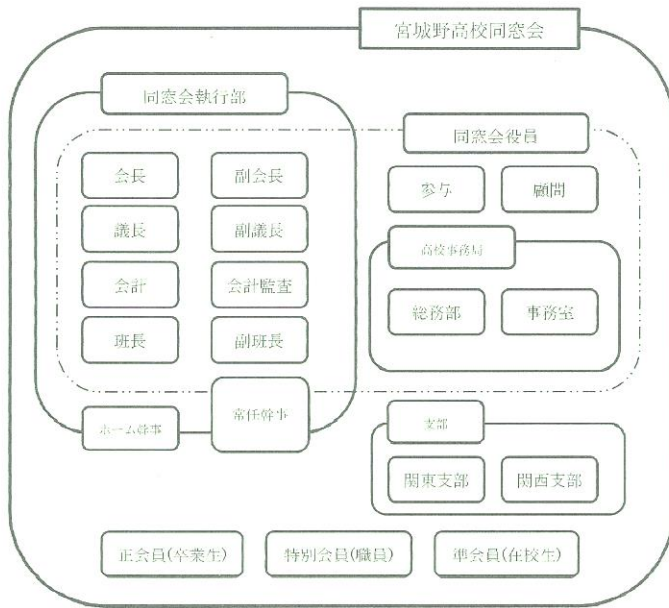
【私立大学】

学校	現役	既卒	計
岩手医科大	1		1
東北学院大	85	3	88
東北福祉大	35	4	39
東北医薬大	9	2	11
東北芸術工大	28		28
青山学院大	1		1
東北工業大	22	2	24
宮城学院大	25		25
専修大	2	1	3
尚綱学院大	5		5
多摩美術大	11		11
中央大	7	3	10
国学院大	5		5
駒澤大	4		4
芝浦工大	2	2	4
拓殖大	1		1
日本大	12	3	15
フェリス女子大		1	1
女子美術大	2		2
東京電気大	2		2
法政大	2	2	4
明治学院大		1	1
明治大	2	1	3
立教大	1		1
早稲田大	1		1
京都造形芸術大	2		2
東洋大	3	3	6
その他私大	34	10	44
私立大学合計	304	38	342

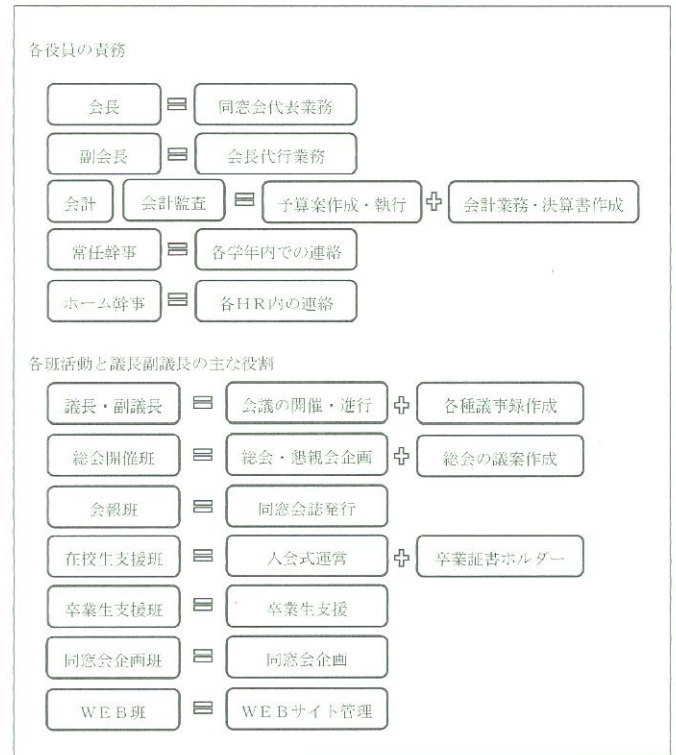
お世話になった先生方

平成29年3月	
退任された先生方	
熊谷 圭二 先生	
転任された先生方	
佐藤 誠 教頭先生	
亀井 聡 先生	
庄司 宗彦 先生	
後藤 知子 先生	
名古 明子 先生	
遠藤 愛弓 先生	
伊藤 修一 先生	
藤原 泉 先生	
川村 鎮平	さん(事務室)
細浦 悠	さん(事務室)
三浦 快季	さん(技師)

宮城野高校同窓会組織図



宮城野高校同窓会執行部内訳



同窓会の体制

当同窓会では会長や議長等からなる「執行部」を設け、その中に各事業を企画運営する「班」があります。現在班は6つあり、それぞれが班長を中心に活動を行います。班長は役員ですが、班員はホーム幹事や常任幹事に限らず同窓生全員が対象です。どなたでも同窓会活動に携わることができます。現在は人員の不足により、役職関係なく活動を行っていますが、将来的にはそれぞれの班が自立して活動できることを目標としています。

※各回生のホーム幹事・常任幹事の皆様へ

こちらから連絡が取れなくなっている事象が多数発生している状態です。全くメンバーが分からなくなっている回生もあります。メンバーの把握のためにも事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。

平成29年度 宮城野高校同窓会役員・執行部 (案)

役職	氏名(回生)
会長	庄司 諒(10)
副会長	柴田 康博(1) 笹川 直子(1)
議長	吉澤 和(16)
副議長	吉田 友香(1) 鎌田 航平(18)
会計	西海 奏(1) 堀込 洋子(7)
会計監査	柴田 久美子(2) 白石加奈子(6)
総会開催班	宮下 陽菜(12) 大泉 卓也(10) 若松 千秋(15) 赤津 孟(19)
会報班	佐藤 詔太(10) 川嶋 彩香(14) 近藤 菜保子(15) (阿部琢哉(6))
在校生支援班	清野 菜津江(14) 安藤 雪華子(16) 吉田 瑞生(18)
卒業生支援班	竹内 大空(16) 葛西 佑美(15) 佐藤 美咲(14)
同窓会企画班	岩崎 智大(14) 阿部 伊吹(14) 佐藤 奏太(19)
WEB班	庄司 諒(10) 大場 啓(15) 安住 早紀(15)
参与	伊東 玲子(現校長)
宮城野高校事務局	佐藤 佳奈(総務部 6回生) 佐々木 秀夫(総務部長) 藤原 昇(総務部) 畠山 康江(事務室長)